2・3面 特集記事 「心とからだを育む環境づ くりって?」

コラム ここに母校あり 「若葉台特別支援学校」



第6回 市 Р連三行詩コンクール

作品募集のお知らせ

-般の部(保護者·家族·教職員) 児童生徒の部

日本PTA全国協議会「たのしい子育て全国キャンペーン」へ の推薦もあります。詳しくは学校にお送りした案内、または市 P連ホームページをご覧ください。

(http://www.pta-yokohama.gr.jp/)



発行日/平成26年7月1日 発行者/横浜市РТА連絡協議会 横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会内 TEL662-7080 FAX662-6084 編集/平成25年度 常置広報委員会

・ 平成26年度 市 P 連役員・会計監査



瀬谷区 原中学校



戸塚区 豊田中学校



青葉区 市ケ尾中学校



生中信行 小学校長会 菅田小学校長





キマル学校 DTA

野澤眞. 緑区

会計監査 佐野正明 磯子区 杉田小学校 工藤幹夫 特別支援学校 若葉台特別 支援学校長



丸山智美

戸塚区

小林 創 都筑区 存田南小学校



山下久美子 保土ケ谷区

星川 薫 神奈川区

良PTA・広報紙コンクー

れました。

市長の祝電披露の後、

優

長会大矢会長から祝辞が贈 委員会岡田教育長、中学校 拶がありました。 来賓からは、横浜市教育

9 0 て子どもは育つとよく言わ ています。大人の背中を見 それが大切なことだと思っ らされているのではなく、 歌斉唱に続き、市P連栗原 び関係者689名の出席を 特別支援学校の各代表およ 学校・中学校・高等学校・ 自ら進んで考え行動する、 会長から「PTA活動はや 得て進められ、 開催されました。市内の小 協議会大会式および総会が 分に閉会しました。 開会のことば、国歌、 会 午後3時35 式

思っています。」という挨 れますが、私たち大人も学 び続けなければならないと 報告

支内訳案 スローガン・活動方針 PTA研究大会横浜大会収 度維持費案、関東ブロック 業計画案、予算案、補償制 役員および会計監査承認、 平成26年度 事

実した活動を行うことがで

き、大変な中でも楽しく充

会員の皆様のご理解ご協 そしてご指導を

いただ

きました。皆様におかれま

しても、『今しかできない

挨拶に続き、 斉唱で閉会となりました。 新役員の紹介、 PTAの歌 退任役員

PTA活動』を思いきり楽し

にありがとうございました。 んでください。一年間、本当

会計

贈呈がありました。 理事・常置委員への感謝状 研究会、平成25年度市P連 浜市立小学校図画工作教育 開会のことば、 総 会

な運営が求められていま

市P連も、役員、

理事

午前の部

昨今の世の中の流

れ

0

中

PTAにも公正、

透明

り関内ホールにおいて、

平

6月

13日

(金)午後1時よ

ル受賞の各団体の表彰、

横

26年度横浜市PTA連絡

べて承認されました。 続き、議長団が選出さ 予定の議案は審議後す 資格確認

ます。ご協力お願い

いたし

たちのための活動・情報発

信を行っていきたいと思い

関東ブロックPTA研究大 補償制度維持費決算報告、 事業報告、 会横浜大会収支・会計監査 横浜大会収支·決算報告、 指定都市PTA情報交換会 平成25年度 会計決算報告、

前会長あいさつ



栗原秀泰 都筑区 東山田中学校

②自制力…有害サイトにアクセスし ①判断力…情報を理解し見分ける力 アクセスに迷ったとき親に聞く力。

子どものネッ

欺やいじめなどが起きています。こ のようなトラブルから子どもを守る る今、インターネットを利用した詐 親として何ができるでしょ

ために、

ト利用に必要な

大切です。 が必要です。」と力強くお話しされま 内でのルールを親子で話し合い、 て の利用を含めたさまざまな会話をし ども自身が理解し認めていくことが 子どもと積極的にかかわること 親は日ごろから、ネット

器を安全に活用する方法を充分理 講演をうかがって、 親がネット機 安全教会 タイ ネッ ١

と常置委員の皆さん、そし

てすべての会員の皆さんと

緒に、横浜の親と子ども

植田 威 氏 NPO情報セキュリティ フォーラム 理事・事務局長

パソコンや携帯電話を気軽に使え

作ろう

子どもと一緒に我が家のルールを

3つの力とポイントを含め、「家庭

命を守ること。 歩くグッズ5-仕組 自分の力で生 ある自分自身〉 防災で一番 (原理) を知り、知恵と工夫で 大切なのは、その瞬間 さるために必要な物の があります。これは、 **点のなかに〈⑤知恵の** 」そのために毎日持ち

平成25年度横浜市PTA連絡協議会研修会 テーマ「子にもたらを取り訳く。岩道環境における

会長あいさつ

議会研修会が行われました。 2月19日(水)関内ホールにおいて、平成25年度横浜市PTA連絡協

したうえで、

子どもに渡すことが大

切だと感じました。

森川智之

港北区

大綱中学校

できる「防災術」をお話しいただきました。 おとなも育とう、こどもと共に」市P連スローガンのもと、午前の 「子どもの安全・安心なネット利用法」、午後の部は身近なもので

③責任力…トラブルに対して社会的 な責任を負う力。

②親が思いやりの心、常識ある行動 ①親自身がフィルターの役割を持つ。 子どもを見守る3つのポイント

③親が子どものネット利用に関心を の装いで会場 か今日の講師あんどう りす氏でした。 赤いリュッ

人りした女性、その方

を背負い山ガール風

毎日持ち歩く ①携帯電話 グッズ5点

4マルチツール ③LEDヘッドランプ ②玉なしのホイッスル

⑤知恵のある自分自身



命を 今日 からできる 寸る防災術!!

午後の部

あんどう りす 氏 アウトドア流 防災ファシリテーター

方を活用して、《直進》する光の性 されました。 のは、私たち一人ひとりと気づか 識に留めることなく、生きる知識 対策になります。勉強としての知 きます。 熱の伝わり方《伝導・対流 のように広がる光にすることがで ジ袋に入れる《反射》とランタン 質を持つLEDを、水入りペット 気をためられる服装でいれば防寒 知恵)として生活の中で活かせる |射》を活用して水と風を防ぎ空 トルの裏から照らす《屈折》、レ 小中学校の理科で学ぶ光の進み

ます。さらに、災害時は両手が使 背負い方なら、重さが分散され揺 ストのベルトで、からだにフィッ れが減るためリュックが軽く感じ トさせて背負っていました。この りす氏は、リュックの胸とウエ

自分や家族の命を守ることができ えて救助や脱出がすばやくでき、

使いこなせる物こそ、いざという ぎず、日常生活での知恵を実践し い機会となりました。 時に役立つということを学ぶ、 防災用品と名のつく物に頼りす

優良PTA表彰校 平成26年度 各区部から推薦され表彰されました。おめでとうございます。

鶴見区
保土ケ谷区
旭区
磯子区
金沢区
港北区
緑区
青葉区
都筑区
戸塚区
栄区
泉区
瀬谷区
特別支援学校
200

う」などの感想がよせられました。 受け不安だったが前向きになれそ 性を感じた」「初めて役員を引き らは、「地域とのつながりの重要

新任役員研修会

いて、平成26年度横浜市PTA新 任役員研修会が行われ、約700 4月15日(火)関内ホールにお

指導主事より『子どもとPTA』 支援・地域連携課 山手英樹主任 へが参加しました。 初めに、横浜市教育委員会学校

の講演。続いて、市P連役員より、 PTA基本知識情報の説明、 PTA役員経験者から経験事例紹

熱心に耳を傾けていた参加者か

介がありました。

代用品を作りだせる自分のことで

H25 JYOUCHI KOUHOU ikuta / aihara / morikawa / shimomura / hatanaka / nowada / fujinaka / ishikawa / miyoshi / kato / iizuka / harako / misono / tanaka / hayashi / yuuki /sahoda / adachi / moriwaki / chiba / kondo / iwasaki / watanabe



国際交流・ 国内研修事業 感想文

的として行われました。 3 26 29 国際社会で活躍できる人材育成を目

河邉真理枝

横山 珠巳

佐々木佐智

向川原玲子

定

未

西澤 裕季

加 し は 際 てきまし 交 流 in 際 交流 つくば た。 つくば に参 学 そこでは、 校 に 加 し 浜 て 各 学 市 玉 h か 表 な だ ら集ま ۲ ₹ し

役 立てて ١١ き た い で す。

ħ

か

ら

0

生

活に

加

さ

せ

ただ

١١ W

た ま

۲

に

感

謝

鶴見

広報

する ヤレ

ŧ

要

だと思

ジする勇

気はこれ

から

先、 Ŧ

何

か

に

挑

陽子

悦子

理恵

×

谷口亜祐美

青木 裕子

小濱由美子

三宅ゆり子

松岡伊知子

深山由希子

常盤 志麻

山田智加子

渡邊千恵子

区

梶 恵津子

原

輿石 敦子

岩崎

建石

宮崎

区 栄子

神奈川区

西

中

広報

受賞 25 校と作品 奪 度 広 報 講 紙 評

成

2校の ル」に、横浜市代表として推薦されます。は、日本PTA連絡協議会「全国小中学校PT 神奈川 平成25年度横浜市PTA広報紙コンクー 新聞社賞1校が選ばれました。中から、会長賞11校・奨励賞11: 小中学校の会長賞10作1.校・広報委員長賞1校 ル A広報紙コンク に応募された1

会長賞 & 広報委員長賞]

講評は神奈川新聞社にお願いしました。

の緊急座談会や図書館の活用な ンスのよさも感じた。高校受験 分けて構成し、読みやすく、 ●生麦中学校「風早台」 特集」「地域」などテーマ セ を

●帷子小学校「広報』かたびら』 レイアウトや写真撮影のセン 神奈川 新聞社賞]

●東山田小学校

【会長賞

&

隊など各委員会の活動も紹介 とはある。 みで委員会を構成しただけのこ ていることが分かる。 しがポップで楽しく、希望者の レイアウトやデザ 校内での連携もうまく 読み聞かせや見守り

を行い継続的に取り組

んだ点が

ばらし

について、アンケー

トや座談会

ンターネッ

かれてい

る。

特に携帯電話やイ の危険性や問題点

スもよく、

記事もしっかりと書

(会長賞)

善に向け、アンケー 「PTA広報誌『やまた』」

価され

一時計台」 イン、

見出 校生活を生 中PTAの活動や生徒たちの学 深い などアンケ 全国協議会会長表彰受賞の同 上菅田· き生きと紹介。 校「くさぶえ」

や学校の対応をコンパクトにま

生徒が日ごろから心がけること

災害対策の特集では、家庭や

「『ひがし』PTA便り」

生徒らの学校での

※表情

も分

教員について見やすく紹介し、 とめた。部活動やPTA活動、

●山田小学校

面を通じて親にフィードバック している点は、 PTA運営のポイント制の 内容の質の高さが、 寄せられた意見を、紙 広報紙のお手本 トを取るな

ど記事内容もいい。

工夫してカ

ー化やページ増を図った点も

●つづきの丘 「つづきの風」 **沂学校**

報紙らしい視点を持ち続けてい ンタビュー記事など、PTA広

て評価される。

れている。 並べたりして読ませる工夫がさ らの1年間をすごろくにした 6年生の卒業に際し、子ども たくさんのお弁当の写真を 記事も並ぶ。 「おこづかい事情」 トを行うなど興味

●東高等学校

の家」特集では、家の写真をほ をすべて委員で行ったという ●滝頭小学校 印刷代を抑えるため編集など 写真の切り っった。 「たきがしら」 学校給食カレン こども110番 抜きなど丁寧に

うかがえる。という姿勢がと一緒に考えようという姿勢が のインタビュー記事に、子ども 受賞したキャリア教育について 路指導主任や文部科学大臣賞を

●日吉台中学校「会報 日吉台」 夫されている。地域の防災マッ 写真もうまくレイアウトも工

ぼ網羅して地図に落としたの

大変分かりやすい。

プは力作で、

北綱島小学校

ハマの防災番長(校長)」のイ

行った力作。

れている。 ●東山田中学校「光のかけら」 ラストが読者をひきつける。 ファンシーなレイアウトやイ

で取り上げ

は圧巻だ

makino / yoshizaki / isono / yuasa / uchiyama / tougou / matsuo / hashimoto / ikeda / taki / sato / shinohara / yamamoto / ooba / kurihara / ujiie / murata / special thanks! mr.t.kobayashi / PTA YOKOHAMA No.154 2014. 7.1

まとめ、

震災の体験談や防犯

●勝田小学校

「さわやか勝田」

活動を時系列でコンパクトに

マップ、45周年の歴史などの特

集も読ませる

夫がなされてい

1カ月分の献立を写真入り

南

猪俣 事業 森 区 広報 廣瀬 髙田 長嶋 板垣 杉本

唱発表会の写真を並べるなど、の上下にお弁当の写真や秋の合 広報 森山 早苗 葉子 裕子 佐藤 優子 高瀬久美子

高橋 昭子 芹口 智美 蓑田 悦子 旭 区 市瀬 美香 広報 金子 艶子 高橋ちひろ 日向 弘子 住森 玉代 磯 子 区 富代 広報 武者 持田 直子 事業 平野 里美 鷲尾 興春 一色 玲子

金 沢 区 芦垣 明子 朱美 広報 伊藤美和子 伸行 祐子 石田美佳子 小林 京子 悦子 梶本 好弘 貴子

Ø

でし

た。

新しい仲間と話してみるチャ

レ

学生と英語

で話してみるチ

レ

平成26年度

協

7

て

何

かに

向

か

う

ヤ ヤ

ンジ ンジ、 ン

に

は

たくさんの

意 た。

味が

込

83

ら

ħ

た

ŧ

港南

広報

ヤレンジ!」

と言いまし

私 々

0

中

で

その

櫻井

小野

越智

田端

市村

保土ケ谷区

広報

佐藤美智子

Ø Ŧ

様

、 な 場

面で仲間と声

を

ろ

え

て、

てく

ħ

まし

また、

日

本に

つい 化

て フ

Ø い Ŧ

ブ

広報

事業

広報

戸 塚 区

中村

木下 悦子

小林

小泉 敦子

手塚

鈴木 美佐

清水 貴子

五荘裕美子

寺岡祐佳子

村上 順子

晃子

恵子

玲子

3

'n

0 生

事

ゃ、

自

一分の

玉

Ø

文

に

て ヤ

話

留

が

日

本に来て

受け

た

カ

ル

ンテ

シ

3

ン た。

を

し

まし

た

Ø

活動を

通して学べた

こ と

は

勇

気

レンジすることの大

切さです。

活 を

動 ŧ

0

常置広報委員

悦子

陽子

美幸

真紀

廣治

港は	ヒ区			栄
広報	中村	裕子		広報
	下里	礼子		
事業	垣内	妙子		事業
	内藤	美保		
	吉田	直子		
緑	X			泉
広報	本多コ	ロリカ	_	広報
	森岩	は津香		
事業	井上	裕子		事業

・常置事業研修委員

須一 石川あかね 溝口 裕子 斎藤 嘉山 陽一 良子
 瀬 谷 区

 広報 金子加寿美

 吉田美音子
青 葉 区 晃代 広報 大井 松本 清枝 久保 陽子田村 聖子 蒲田 聖子 四宮 織恵 難波江すみか 樗木 裕伸 特別支援学校 都 筑 区

広報 宮田 君江 事業 遠近 美香

> 広報=常置広報委員 事業=常置事業研修 委員 (敬称略・順不同)

| 輪運動〜子どもの学校生活を見守る親の心

ここに母校あり~未来へはばたけ~

月に「知的障害教育部門高等部 (B部門)」 を開設、横浜市立では初の異なる障害のある

ば』があります。B部門にある3つのコース

- ●パン工房コース (パン作り・接客・販売)
- ◉オフィスサポートコース

(営業カレンダー、値札シール作成等)

A部門の子どもたちも、できる範囲でビラ 配りをするなど笑顔で参加することもありま

の声をきっかけに、この『パン工房わかば』



- ●ビルメンテナンスコース (お店の清掃)

『パン工房わかば』には、学校目標に掲げ 通して、技術力も重要だが生徒たちの力を伸 ばすにはコミュニケーション力がより大切だ を近い将来『カフェ』にしたいと考えていま

多くの方に支えられているこの場所は、焼 きたてパンのような温かさを感じました。



この学校の特色の一つに、『パン工房わか

す。営業日には、地域の方々が来てくださり、 いつもあっという間に売り切れます。 ている「共生共学」、開校宣言にある「地域 とともに」など、すべての思いがこめられて

います。先生方もこの『パン工房わかば』を

が、このパン工房に関してそれぞれの役割を



ホタル池には生き物がいっぱい



の隊長

/池でおたまじゃ-心に60名以上の

A 治り とのように確保し

地域の方々

登っ

のま

然お

にふれ、水の流れる) この活動を通し

えものでは



~子どもたちと見すえる未来への船出~

第47回 関東ブロックPTA研究大会 横浜大会 子どもの生きる力【知・徳・体・公・開】想いをつなぐ教育文明開化

携帯メールマガジン「はまのタスケ・メール」では、 相談の多い契約トラブル等の事例を紹介しています。 「はまのタスケ・メール」で**悪質商法の手口を知って、**

yokohama@star7.jp

まで空メールを送信。

登録フォームに入力。

送られてきたメールから

篇10:00~21:00 水曜5時はおトクがいっぱい 環状2号線沿い師岡町交差点そば 土・日は、さらに 450台 P 全日無料

トレッサ横浜

神奈川新聞社 お客さまふれあい室 横浜市中区太田町 2-

登録できます。 横浜市 トレッサ横浜 検索 消費生活 総合センター

登録 ボタンを押して完了! **連相談は** 045 - 845 - 6666



キッパリ「 🕅 🗓 」と断りましょう! 聲 🛱 は簡単!

かながわ職人 NAVI 検索へ http://www.shokuninnavi.com/

子どもの健やかな成長のために、PTA・学校・地域で取り組んでいる例を取材しました。

落ち着いて

·授業に取り組 は廊下に座り 4日学校へ行

タル

池まも

(金沢区)

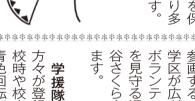
される保護者のたるために草取り

ています。学校司によって支えられ がなります。学校自慢の図書 と、 学校司

を、先生ごう

で明るくなりまれが一輪あるだけ殺風景な廊下も

算数学習や、4~ は、3、4年生の は、3、4年生の 終称)







(保護者の感想)



子どもたちの憩いの場□□



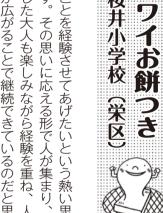
ポートをしていまで子どもたちのサ

今後もっと増えてい地域と共に歴史とに





7



が広がることで継ばした大人も楽しみな

'夏休み親と子の工作教室"でおなじみの 神奈川土建です

住宅リフォームのご相談は 横浜市内の建設業者へ

神奈川土建•横浜市協議会 tel:045-453-9806





金沢動物園入園料100円引

平成26年 月 日 大人 名 高校生 名 小学生・中学生 名 未就学児 名

コピー及び団体でのご利用、他サービス券との併用はできません。

●クーポン利用日 ●ご来園人数